



東京石川島造船所深川分工場

英製自動車製造並一洋子取



平記念

郵政省印刷



企画展

小さな

# 大正展

遠くて近い？



大正時代のモノやコト

2026

3/13(金)

▶ 6/10(水)



英製自動車製造並一洋子取  
東京石川島造船所深川分工場



伊豆市資料館  
IZU LOCAL HISTORY MUSEUM

〒410-2502 静岡県伊豆市上白岩425-1  
TEL:0558-83-1859

休館日 木曜日  
開館時間 9:00~16:00 (最終入館 15:45)  
入館料 大人210円 小中高生100円



# 小さな大正展

遠くて近い？ 大正時代のモノやコト

今からちょうど一〇〇年前、一九二六年十二月「大正」という時代が終わりを告げました。

その時代に生まれ、暮らしを営んだ人たちの考えや体験を直に聞くことも難しくなった今日では、大正時代は遠い昔のことのように感じられるかもしれませんが、さらには、その期間が十五年と短く、印象が薄いというところもあるでしょう。しかし、大正時代は国民が自らの生活向上に向けて邁進し、自由な「個」に目覚め、社会の不正や貧困の改善を求めた「民主化」の時代です。そして、それにとまなう新たな文化も花開きました。これらは現在の日本のあり方に直接つながるものであり、また、今ではおなじみの「モノ」や「コト」が誕生したはじまりの時代でもありました。

本展覧会では、こうした「遠いけれど近い」一〇〇年前の大正時代を、当時大流行した「小さなメディア」である絵はがきを中心に紹介します。



【大禮記念章】

大正天皇の即位の大礼や大嘗祭に招かれた人などが授与された記念章です。  
表面は交差した桜と橘の枝に「萬歳」と記した旗と金の菊花紋、裏面には「大禮記念章大正四年十一月」と記されています。



【桃】



【羽子板 (かちかち山)】

(杉浦非水 図案 絵はがき)

杉浦非水は、日本の商業美術に大きな足跡を残した大正時代を代表するグラフィックデザイナーです。

図案集の出版やデザイン雑誌の刊行などを通して、日本におけるデザイン意識の普及や教育に大きな役割を果たしました。



【明治天皇大喪儀 (絵はがき)】

明治天皇の大喪儀は、歴史上はじめて撮影され、一般民衆の目に触れました。この絵はがきは、降雨の中を桃山御陵へ向かう葬列の様子を撮影したものです。軍隊が整列する中を古典的な装束の行列が進むという、伝統と近代が融合した光景が展開されています。



【ラジオ】

ラジオ放送は、大正12年(1923)9月1日に起きた関東大震災をひとつの契機としてはじまったといわれています。

新聞社が地震によって被害を受け新聞が発行されず、正確な情報が伝わらずに混乱状態に陥った反省から、ラジオによる速やかな情報伝達が求められました。



【軍事郵便】

大正4年(1915)4月29日付、第一次世界大戦時に出征した兵士から送られた軍事郵便です。

## 伊豆市資料館常設展

常設展では、伊豆市の郷土に関する資料を展示しています。



人面把手  
(上白岩遺跡出土)

土器の把手として付けられていたと考えられています。特殊な人面型をしているところから、祭祀に用いられた土器とも言われています。

大型有孔虫レビドサイクリナの化石を展示しています。この化石の発見により、伊豆半島が南の海からやってきたことが分かりました。また、他にも様々な化石を展示しています。



レビドサイクリナ



貝の化石

## 伊豆市資料館アクセス

自動車：国道136号修善寺横瀬交差点より伊東方面へ約10分  
電車・バス：伊豆箱根鉄道「修善寺」駅よりバス約10分  
(伊東方面「白岩」バス停下車)

